



とびっくす No.2

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <http://www2.pref.shimane.jp/suisi/>)

特集：海からの珍客

平成 17 年 1 月 14 日、「オットセイ」が浜田漁港にしばらくの間滞在し、市民の話題となりました。オットセイ(キタオットセイ)は北方系の海獣であり、本来の回遊水域からはずれて迷い込んだものと思われ、島根県のような日本海南西部で観察されたのは今回が初めてです。本号はこのオットセイを始め、島根の海に現れた珍しい海の生物を特集します。

～ 浜田港に現れたオットセイ「ハマちゃん」～

1 月 14 日朝 8 時 30 分頃、県民の方から浜田漁港にアザラシのような生き物がいると連絡がありました。通報を聞いて車で駆けつけると、遠目に動く「ハマちゃん」を簡単に見つけることが出来ました。アシカではないかという声もありましたが、後ほど駆けつけた海洋館アクアスの職員の方にキタオットセイと同定していただきました。ほぼ大人の個体ですが性別は不明。往来する船にも動じることなく水面上に横たわる格好で、前肢と後肢でわかを作り休息しています。さしずめ日曜にごろ寝を決めこんでいるお父さんみたいに、のんびりした様子です。最短で 10m 程度まで近づいてくれましたが、岸壁が近くなると水面下の方の肢を動かしてゆらゆらと沖の方へ離れて行きます。

その後、ハマちゃんは浜田港内をうろうろしていた様子ですが、その日の 15 時過ぎに水産試験場横の外海へ通じる水路から沖に向かって元気に泳ぎ出て行く姿が目撃されました。

小春日和に誘われてやってきた「ハマちゃん」は、今年最初の和やかなニュースとなりました。今回、すばやい情報をいただきありがとうございました。



浜田港内でくつろぐオットセイの「ハマちゃん」

* 「ハマちゃん」の映像を水産試験場ホームページで公開しています。

<http://www2.pref.shimane.jp/suisi/eizou/>

* オットセイなどの海獣類について

オットセイ(キタオットセイ)は夏にベーリング海などの北の海で繁殖し、秋～春にかけて太平洋や日本海北部に回遊することが知られています。過去の記録ではオットセイの発見例は日本海側では京都府が南限と言われ、島根県で発見されたのは初めてです。オットセイはアシカに近縁で姿も似ていますが、アシカと違ってふさふさした毛皮をまとっており、外国では毛皮獣として珍重されています。ちなみにかつて日本海にはアシカ(ニホンアシカ)も生息していましたが、1950 年代の竹島での記録を最後に絶滅してしまいました。また、日本海ではたまにゴマフアザラシ等のアザラシ類が見られます。

～ 昨年現れた珍魚など ～

以下は昨年(2004年)漁業者や県民の方から報告があったり水試の業務中に獲れた珍しい魚です。珍魚の出現はただ単に物珍しいとか学術的に貴重というだけでなく海の状態の変化を示すサインとしても重要です。例えば、ここ何年かは南方系の魚介類の報告が目立って増えておりこれは日本海の海水温の上昇を反映しているものと考えられます。

ウミガメ



アカウミガメのふ化 (2004.10.15、江津市黒松海岸)

今年は江津市黒松海岸でアカウミガメのふ化が確認されました。島根県ではウミガメの産卵自体珍しいことですが、今回のように自然状態でのふ化が確認されたのは初めてです。しまね海洋館アクアスによる10月15日の調査では約25尾の稚ガメが確認され、稚ガメたちは江津東小学校の子供たちに見送られて海に帰って行きました。

謎に包まれた魚たち



テンガイハタの仲間
(2004.10.18、浜田沖、水試トロール調査、全長112.5cm)



フリソデウオの仲間(幼魚)
(2004.6.8、浜田沖、水試中層トロール調査、全長24.6cm)

左の2種は珍魚として有名な「リュウグウノツカイ」の近縁種で、帯のような変わった体型と鮮やかな赤いひれが印象的です。その生態などは謎に包まれています。どちらもこれまで日本海で獲れることは希だったのですが、ここ数年日本海での報告が増えています。今年度の水試の底びき網調査中には左のテンガイハタの仲間がシーズン中数個体入網しました。右側のフリソデウオと思われる幼魚も水試の中層トロール調査中に採集されたものです。



ダイオウイカの種類

(2004.2.9、島根町大芦、県民の方から)
島根町の浜に打ち上げられたダイオウイカの種類です。ダイオウイカは深海に住む巨大なイカで、その生態はよく分かっていません。日本海側でも希に浜に打ち上げられて話題になります。(写真提供：タウン情報ラズダ編集部)

色が変わった魚介類



黄金色のマアナゴ

②004.11.14、はまだ漁協所属沖合底びき網)

一見普通のアナゴのようですが、体色が非常に薄く黄色がかった茶色で、さしずめ黄金のマアナゴと言えます。これは色素の形成が未発達な突然変異個体と考えられます。



通常のマアナゴ



純白のナマコ

(2005.1.28、西ノ島町波止漁港、浦郷漁協所属の漁業者の方より)

先月の28日に西ノ島で捕獲されたマナマコと思われる白化個体です。昨年はずいぶん白いナマコの発見が相次ぎ、島根町加賀港(1/20)、浜田漁港(2/10)、島根町多古漁港(2/20)と計3個体が採集されています。写真の個体は現在県栽培漁業センターで飼育中です。(写真提供：島根県栽培漁業センター)

南方系の魚介類

以下の魚介類はいずれも一般には沖縄などの南方域で多く見られる種類で、日本海で漁獲されるのはかなり珍しいものばかりです。



ミナミケカツオ(幼魚)

(2004.11.15、全長 16.1cm、浜田市長浜港、県民の方より)

熱帯～亜熱帯に多く見られるアジの仲間、美しい銀色の体をしています。発見当時、長浜港には多くの個体が見られたとのこと。



イッセンタカサゴ

②004.10.7、全長 16.2cm、多伎町漁協定置網)

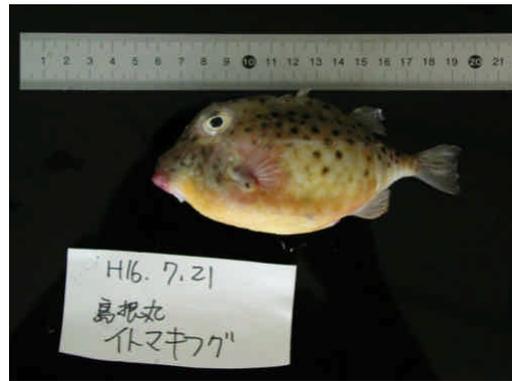
主に八重山諸島などのサンゴ礁域で群れをなして生活しています。生きている時はくっきりした縦縞があります。

南方系の魚介類 その2



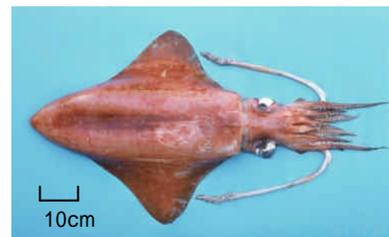
ソトイワシ

(2004.10.12、全長 42.4cm、はまだ漁協所属沖合底びき網)
熱帯から亜熱帯の砂泥底に多く生息する魚で、口が下向きになっているのが特徴的です。分類学的にはカライワシ類と呼ばれるウナギ類に近縁なグループに属します。

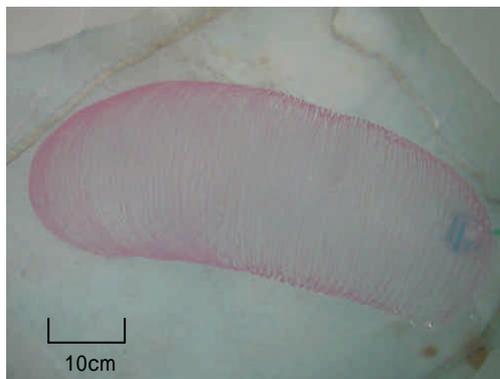


イトマキフグ

(2004.7.21、全長 13.8cm、水試底びき網調査)
相模湾以南～東シナ海に分布するフグの一種で、その名の通り糸巻きのような体型をしています。



ソデイカ成体



ソデイカ卵塊



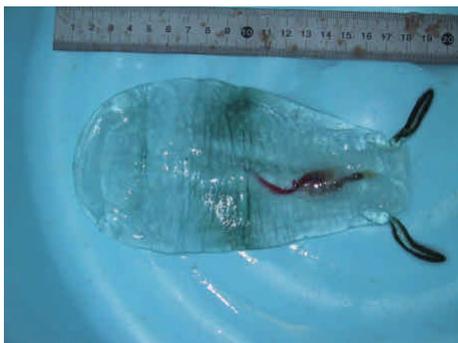
稚イカ

ソデイカの卵塊と稚イカ

(2004.11.24、西ノ島町・島根県栽培漁業センター採集)

全長が1 m以上になる大型のイカとして知られるソデイカ(地方名アカイカ・ベニイカ・ドウタレ)の卵塊です。ソデイカは日本海に回遊して来て漁業の対象にもなっていますが、産卵は東シナ海等の南方域で行うことが知られています。昨年初めて、隠岐や兵庫県など日本海で産卵が確認されました。卵塊は直径が13cm、長さが60cmのソーセージ形で、寒天のような物質でできています。この大きな塊の表面には、直径が1mm程のピンクや紫色の卵がらせんを描くように付いていました。この卵を水槽に入れて観察したところ、10日で大きさ2mmほどの稚イカがふ化しました。(写真提供：島根県栽培漁業センター)

南方系の魚介類 その3



オオサルバ

Q2004.6.9、浜田沖、水試中層トロール調査)
ウサギの耳のように見える突起が付いた不思議なゼリー状の生き物で、海洋の中層を浮遊しています。クラゲのようにも見えますが、分類学的にはホヤなどに近い動物です。温暖な海に分布し日本海ではこれまで珍しい種類でしたが、今年は日本海側の各県で確認され、中には本種が底びき網に大量に入った例もありました。



ノコギリウニ

(2004.11.11、島根町大芦、松江水産事務所採集)
大型のウニの一種です。棘が太くのこぎり歯状のギザギザがあります。相模湾以南の太平洋沿岸などに見られる南方系の種類です。(写真提供：松江水産事務所)



ハナデンシャ

(2004.2.18、浜田市長浜港)
暖海性の大型のウミウシで全長 15cm 以上になります。"花電車"の名のとおり艶やかな色彩を身にまとい、また発光する能力もあります。(写真提供：しまね海洋館アクアス)



ヤマトメリベ

(2004.7.18、江津漁協・定置網)
大きな袋のような頭部と口を持つ奇妙なウミウシの一種です。島根県では平成7年に初めて確認されて以来、何例か報告されています。写真は昨年アクアスに収容された個体で全長 30cm 近くありました。

情報をお寄せ頂いたり魚体を提供して頂きました漁業者や県民の皆さん、どうもありがとうございました。

水産試験場では漁業関係者や県民の方からの様々な情報をお待ちしています。珍しい魚がとれたり海のことによって変わった現象などがありましたら、ぜひ水産試験場あるいは県栽培漁業センターなどの試験研究機関にご連絡下さい。

本誌はカラーの写真や図を多く使用しています。FAXでご覧の方は、ぜひインターネットで水産試験場ホームページにアクセスして本誌をカラーでご覧下さい。

島根県水産試験場 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1

TEL : (0855)22-1720 FAX : (0855)23-2079

ホームページ : <http://www2.pref.shimane.jp/suisi/>

E-mail: suishi@pref.shimane.jp